

令和5年3月吉日

公益社団法人 全国老人保健施設協会
会長 東 憲太郎殿

国立大学法人高知大学
医学部神経精神科学講座
教授 数井 裕光

アンケート調査のお願い

謹啓 時下、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

現在、わが国では認知症の方が増加していることを受け、多くの高齢者が認知機能の低下を防ぎたい、認知症を予防したいと思っておられます。また認知症になっても回復したいと思い、運動療法、認知刺激療法等の非薬物療法を受けておられる高齢者も多いと思います。しかし我が国において、どのような種類の非薬物療法が、どのような頻度や期間、実施されているのかについて、広く調査されたことはありませんでした。また非薬物療法を実施しているリハビリ専門職の方々が、どのようなニーズや課題を感じておられるのかについても調査されたことはありませんでした。そこで貴協会加盟の老人保健施設のリハビリ専門職の方に、「認知症発症リスク、および認知障害、生活機能障害、行動・心理症状（BPSD）等のための非薬物療法」の実施状況、課題等についての本アンケート調査へのご回答をご依頼していただきたく存じます。さらに理想的な非薬物療法が開発された時には、どのような方法で広報すると必要としている人達に届くのかということについても、皆様からご提案をいただきたいと思っております。

貴協会へのご依頼については、日本老年医学会から強くご推薦いただいた事によります。さらに本アンケート調査は日本老年医学会に加えて日本神経学会、日本神経治療学会、日本認知症学会、日本老年精神医学会、日本精神神経学会が協同して行っております。また経済産業省、日本医療研究開発機構の支援を受けた公的な事業でもあります。今回の調査によって、我が国における非薬物療法の新たな開発と普及が推進されると思っております。

御多忙のところ誠に申し訳ございませんが、趣旨を理解していただき、御協力を宜しくお願いいたします。なお、本アンケートはおおよそ10分程度で回答できる長さとなっております。

謹白

記

研究課題：高齢者・軽度認知障害者・認知症者およびケアする人に対する非薬物療法の実態/ニーズ調査
研究（調査対象：施設入所者/通所リハビリテーション利用者）

アンケート調査回答期間：2023年2月20日（高知大学倫理委員会承認日）～2023年5月31日

研究対象者：公益社団法人全国老人保健施設協会員施設のリハビリ専門職の方

研究方法：Webによる無記名自記式質問紙調査

URL：<https://icam-tech.kochi-ms.ac.jp/redcap/surveys/?s=KXRKJCWYDD>



ご不明な点がございましたら、下記までご連絡ください。

高知大学医学部附属病院 神経精神科学講座

〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮 (Tel : 088-880-2359)

研究責任者：上村 直人 (E-mail : kamimura@kochi-u.ac.jp)

2023.2.27_Ver.roken_1.2